



広島国際学院
創立82年



スタンドライトのデザイン

情報デザイン学科 第2期生 中野絵里奈(広島皆実高校出身) 制作(平成21年3月卒業)

教育と技術で地域社会・産業を支える

特集 立町キャンパスの社会人教育	
英語講座	2
ハングル講座	2
電験講習	3
卒業式	3
たゆまぬ研究 広がる交流 工学部	4
心に温かいデザイン作りへ	
情報デザイン学部	5
「いま」を未来への指針に 現代社会学部	6
注目集めるハイレベル教育 短期大学部	7
高校から発信	8・9
本学院学生生徒の活躍	10
卒業生の活躍	10
教育ミニシンポジウム	11
特別研究成果報告会	11
研究室の紹介	12・13
進路状況	14・15
教員免許状更新講習	16
「総合システム科」から「総合学科」へ	16
今後の主な行事予定	16

広 報

第77号

平成21年4月1日発行

URL <http://www.hkg.ac.jp/>

立町キャンパスの社会人教育

地域連携センターでは、立町キャンパスと一緒にあって、リカレント教育や生涯学習の推進に努めております。立町キャンパスで開かれている「英語講座」「ハングル講座」「電験講習」などは、とりわけ興味深く人気のある講座です。高齢の方から若い方まで、幅の広い社会人を対象にしたことが特徴です。広島市における知の発信元のひとつとなるべく、内容も充実しつつあります。

英語講座

現代社会学科 准教授 増山 栄一 エリック

生涯学習プログラムが成功する要素の一つが立地条件の良さ。その点、広島電鉄立町電停の目の前にある本大学立町キャンパスは最高です。2009年度は以下のような英語クラスを社会人学生さんたちに提供していく計画です。

目指せ500点突破！TOEIC(春・秋・冬学期通年)

TOEIC初心者及び初心者プラスαを対象としたクラスです。春学期末には300点突破を目標に、秋学期末には400点、そして1年の終わりには500点突破を目指します。

手作り広島観光英語(入門編)春学期

世界遺産の他、広島が誇る名物を求めて各国から多くの観光客が広島にやってきました。広島の名所について英語で書かれたものはたくさんありますが、それらを理解した上、自分の意見や感想を加えることで、MY広島観光英語になっていきます。このクラスでは、手作りの広島ガイドができるような観光英語を勉強していきます。

テレビニュースで学ぶ時事英語

政治・経済以外にもスポーツ、芸能、映画、社会、文化、文芸など、時事英語はどんな分野にも存在します。英米様々なテレビニュースメディアからのニュースを教材に、映像によって時事英語を紹介し、その内容理解や聴解拡充を目的としています。また、受講者のご要望を傾聴することで、クラスをより楽しく有意義にしていきます。時事英語学習は現代英語の語彙の増進に役立ち、TOEIC等の受験対策にも繋がります。



楽しく有意義な講座にご期待ください



好奇心旺盛な生徒が集まる

ハングル講座

現代社会学科 非常勤講師 金 廷祐

2006年4月からスタートした立町キャンパスのハングル講座は、当時巻き起こっていた韓流ブームの影響もあり、盛大な出発でした。そのとき本講座が目指したものは、「近くて遠い国?じゃ、近くしよっぜ!」という(生意気な?)キャッチフレーズで分かるように、講座で習得した韓国語を道具にして隣国への理解を深めようという、余りにも壮大なものでした。

3年が経とうとしている今も、社会人生徒たちの熱意は冷めることなく、内容と質はむしろ充実してきて、当初は大き過ぎると思われた目標に毎日一歩ずつ近づいている満足感があります。こうした予想に反する(?)展開は何より、

自発的に参加した市民たちの知的な好奇心によるところが大きいと思います。それでは生徒たちが受講している様子を少し覗いてみましょう。

初級・中級Ⅰ・中級Ⅱに大きく分かれる本講座は、各級8～12週間の構成となっています。もちろん、言葉の基礎部分を学ぶ初級の間には、文字の形体や発音などに多くの時間が割かれ、参加者の好奇心をぶつける時間はあまりありません。しかし、発音や基本的な文法が習得される中級クラスの中ですでに、ハングルと日本語との違いに関心を示す生徒たちが現れます。中級Ⅱが終わる頃になると、参加した市民たちの好奇心は爆発し、朝鮮半島の歴史や社会、日韓関係に関する様々な質問が飛び交います。また、ハングル能力検定試験の受験などさらなる語学上達を目指す生徒たちは、中級Ⅱの延長を求めています。ここまで来ると、参加者のニーズにどこまで対応できるか心配になってきます。

毎週水曜日の夕方6時半にはいつも、好奇心旺盛な市民たちが新たな疑問を胸に、広島都心に位置する立町キャンパスの青い扉を開きます。

「電気主任技術者(3種)」はたいへん人気の高い国家資格ですが、合格率は10%前後と低いのが現状です。試験科目は「理論」「電力」「機械」「法規」の4科目です。中でも「理論」の分野は、現場で仕事に従事されている社会人の方にとって最大の難関です。これらのことを踏まえ、昨年から立町キャンパスで「理論」分野限定の合同講習会(学生および社会人)を開いております。

講習は2月初旬から7月の終わりにかけて計20回行われます(去年は休講日を含め21回でした)。毎週火曜日午後6時半から8時まで、約1時間半の講義です。昼間の仕事を終えた後にもかかわらず、受講生の皆さんは熱心に講義に集中され、問題を解いておられます。活発な質問もたくさん出て、教室は非常に良い雰囲気です。中には講師を悩ます難しい質問や辛つな質問もありますが、私も楽しく勉強させていただくことができ感謝しております。

昨年の講習の結果、「理論」科目において社会人、学生から1名ずつ合格者が出ました。合格されたある会社の方からは、「理論の分野がたいへん良く分かった。来年は後輩を送り込みますのでよろしく」との嬉しい電話をいただきました。講師にとりましてたいへんな名誉だと自画自賛しております。

今年も既に関講しておりますが、未だ数名分の席がありますので「参加してみよう」と思われる方は是非お越し下さい。お待ちしております。



合格の朗報も一層励みに



卒業証書授与式

【高校】

ピッタリ身に付いた制服。自信に満ちた表情。心身共に大きく成長した3年生398名が、吹奏楽部の奏でる「威風堂々」を背に受け、満席の保護者席から大きな拍手の中、まさに堂々の入場です。3月1日、第60回卒業証書授与式が高等学校体育館にて厳粛な雰囲気の中で挙行されました。

卒業生への饒^{はなむけ}として、荻野次夫校長は二つのことを話しました。私たちは有り余る物質文明に浸るうちに、いつの間にか人に支えられて生きていることを忘れてしまっ^てはいないだろうか。「感謝の心」は人への思い遣りや寛容の心を育てる。是非、「感謝の心」を持ち温かい人間関係を築いてほしいと語りました。続いて、プロ野球元読売巨人軍の桑田真澄投手の生き方を例に挙げ「生涯、向上心を持って」学び続けることの大切さを説きました。

式典終了後の教室や校庭では、恩師や友人と記念写真を撮り別れを惜しむ姿が見られました。そして、穏やかな春の日差しの中、卒業証書を手に未来へ向かって羽ばたいていきました。

【大学・短大】

3月19日、中野キャンパス体育館で平成20年度大学・短大合同卒業証書・学位記授与式が挙行されました。

今村詮^{あきら}学長が「入学された時、専門知識を学び、学ぶ楽しさを覚えるとともに、一般教養をも身につけて、誰もが平和で楽しい社会にするにはどうすればよいか常に考える社会人になって欲しいと願いました。皆さんがまさに船出しようとする社会は、現在大変厳しい状況にあります。しかし本学で学んだことをベースに、社会へ出た後も専門知識と一般教養を学び続け、困難にも積極的に立ち向かい、よりよい世界へと導くよう尽力されることを願います」と式辞を述べ、卒業生を激励しました。

保護者、職員そして在学生代表らの温かい祝福を受け、卒業生は誇りと喜びを胸に学舎から巣立っていきました。



卒業証書・学位記授与式

卒業式

たゆまぬ研究 広がる交流

工学部

新たな高大連携事業がスタート！

～福山工業高校と協定結ぶ～

広島県立福山工業高等学校と本学院との高大連携事業がこのほどまとまり、去る3月18日に本大学立町キャンパスにおいて、協定締結式が執り行われました。この連携事業は次に示す活動を推進することで、「ものづくり」を中心とした地域社会に貢献可能な人材育成、技術開発を目的としています。両校の相互発展に寄与するものと思われま。

- 地域に根差した技術者育成の教育プログラム・教材等の共同開発
- 大学・高校の既存設備・機器の相互利用
- ものづくり活動による学生・生徒、教職員間の技術的、人的交流
- 高校生の進路支援に関わる活動の実施(専門的技術指導、模擬授業、体験授業)

これまでに福山工業高等学校と本大学は、専門的技術指導の一環として、バイオマスの利活用技術、排水処理技術、バイオ燃料に関する講義・講習会を実施してきた経緯があります。また、福山の位置する備後地区は、古くより繊維、染色、アパレル産業が盛んな地域であり、ものづくりを中心とした人材育成のニーズが非常に高い地域でもあります。事業の進展により、両校間のみならず地域社会との一層の連携を期待しています。

なお、本大学がこのような連携協定を高校と締結するのは初めてです。



福山工業高等学校での専門的技術指導
(竹炭の製造技術とその利用について)



近隣企業の技術者も参加した

ハイテク・リサーチ・センター講習会

本大学のCAD演習室に導入されているSolidWorks、COSMOS Worksを用いて、3次元モデルの作成方法から、有限要素法(FEM)シミュレーションの概要と解析の実際まで、初級コースの内容に関する講習会が去る2月6日に行われました。

近年、製造業においてシミュレーションによる設計開発が進められており、その需要が高まっております。このため、講習会には本大学学生・教員は勿論のこと、近隣企業からも技術者の方々が参加され、合計18名が熱心に受講されました。

講習会の開催により、学生・教員の技術力の向上および、近隣企業の研究開発の一助となると思われま。今後もこのような講習会を活発に行い、本大学学生・教員の自己啓発を図るとともに、開かれた大学として地域に貢献していきたいと思われま。

卒業研究発表会

2月14日、工学部・情報学部との合同による平成20年度卒業研究発表会が、本大学マルチビジョン教室で行なわれました。

工学部電気電子工学科は「電気火災の発生機構解析」「PICを用いた機械制御」、機械工学科は「広島県のカキ養殖事情および生産管理研究」、「ロンビック機構を用いたスターリングサイクル冷凍機の試作」、バイオ・リサイクル学科は「バイオディーゼル燃料製造装置の製作」「画像解析による飲料容器廃棄物の選別技術開発」をそれぞれ発表。情報学部情報工学科からは「初学者のためのJavaプログラムトレーサーの構築」「取得単位管理システムの構築」の発表がありました。

実用的、応用的研究が多く、工学部、情報学部らしい発表でした。選別された研究だけに内容は勿論プレゼンテーションも立派で、学生の頑張りや努力がいたるところに垣間見られました。質問もたくさん出て活発な発表会となりました。最後に、発表者全員に記念品が授与されました。



学生の頑張りと努力の集大成

情報デザイン学部 ▶ 心に温かいデザイン作りへ

学生がラベルデザインしたワイン販売

広島県産のワインを醸造販売している、広島県世羅郡のせらワイナリーショップで、情報デザイン学科の学生がデザインしたラベルを貼ったワインが販売されています。クリスマス用は、田中克弥君(4年生・境港工業高校出身(現:境港総合技術高校))と松下智幸君(4年生・広島工業大学高校出身)のデザインが採用され、またバレンタイン用には、松下君と川上愛沙さん(3年生・安芸南高校出身)のデザインが採用、販売されました。大変評判が良く、せらワイナリー3周年記念のワインラベルのデザインも依頼されました。記念ラベルは、松下君がデザインを担当し、春休み返上でデザインしました。松下君は、4月におこなわれる3周年記念イベントにデザイナーとして参加する予定です。



バレンタイン限定ラベルのワイン



「NHK大学生ビデオゼミナール」
発表会の模様

「いのち」テーマにドキュメンタリー制作、テレビ放映も —NHK大学生ビデオゼミナールに出品—

12月7日にNHK広島放送局ハイビジョンシアターで開催された「NHK大学生ビデオゼミナール・作品発表会」で、情報デザイン学科の学生2名(高野史哉君・3年・出雲工業高校出身/沖元葉子さん・2年・新居浜西高校出身)が制作したドキュメンタリー作品が上映されました。このゼミナールはNHK広島放送局の主催によるもので、第4回目となる今回は県内の8大学・18グループ(74名)の学生が参加、「いのち」をテーマに作品制作を行いました。

高野君・沖元さんの作品「ぼくたちの知らない重さ」は、戦争を体験した老人のインタビューを通して現代の若者に改めて「いのち」の尊さを訴えかけるといった内容で、6月から制作を始めました。今回は惜しくも受賞には至らなかったものの、審査員の方からは「大変貴重なインタビューが取れており、よく頑張っている」との評価を頂きました。作品は後日テレビ放映され、一般に広く紹介されました。



インタビューに応じる沖元さん

第2回卒業制作選抜展

2月13～15日の間、情報デザイン学科4年生による第2回卒業制作選抜展を立町キャンパスで開催しました。学生による卒展委員会が昨年6月から準備を行い、2回目となる今回は「軌跡～our records～」をテーマに、学生の4年間の集大成となる個性を生かした作品を展示しました。期間中は100名を超える来場者があり、アンケートには好意的な意見を多く頂きました。



展示のようす



缶バッジをデザインする子供たち

なお、本展に合わせて地域の親子を招いた特別企画「親子で体験!情報デザイン」を開催し、瀬野・中野公民館から37名の親子に参加いただきました。立町キャンパスへは4年生の矢尾俊祐君(六ツ川高校出身(現:横浜国際高校))によるデザインの第一タクシー(株)「広島・モントリオール姉妹都市提携10周年記念ラッピングバス」で向かいました。また、お土産には同じく4年生の井堰絵里佳さん(美鈴が丘高校出身)のパッケージデザインによる(有)大國堂「もみじまんじゅう」を渡し、たいへん楽しい催しを盛況のうちに終えることができました。

「いま」を未来への指針に

現代
社会学部

2009年早春スペシャル どう戦う？ 新球場とカープ



新球場に期待高まる

「いま」を考え 未来へつなげる

1月25日、立町キャンパスにて、スペシャル企画として、「どう戦う？ 新球場とカープ」と題する講演会・シンポジウムを開催しました。冒頭では、基調講演としてプロ野球解説者の野村謙二郎氏が、専門的な見地から、カープの新球場での戦い方を語りました。またシンポジウムでは、広島市都市活性化局新球場建設部の佐名田敬荘氏が、新球場の魅力について紹介し、さらに女性カープファンの福永洋子氏が、今季のカープへの期待などを語りました。また質問も活発に飛び出し、120名の聴衆は、新球場とカープへの熱い思いに包まれました。

正当防衛か過剰防衛か？ 裁判員制度に向けて

昨年度に引き続き、去る1月21日に裁判員制度に関する講義を実施しました。広島地方裁判所から片平主任書記官と奥本事務官をお招きし、始めに裁判員の選任方法や裁判員がすべき仕事について説明を受けました。その後、有罪・無罪を判断する基準について実践的に考える事例として、学生3人がステージに上がり、暴行事件の加害者・被害者・目撃者役を体験し、この暴力行為が正当防衛か過剰防衛かについて皆で意見を出し合いました。



ロールプレイで事例を考察



さまざまなテーマでスピーチを披露

英語・日本語によるスピーチコンテスト

去る1月12日、本学部で初めての試みとして「スピーチコンテスト」を行いました。増山准教授の呼びかけで本学院内外から高校生と大学生が合計13人参加し、日本人学生は英語で、また留学生は日本語で5分間のスピーチを披露しました。テーマは、現在の金融危機から留学生の日常生活までさまざま。高校生の部では呉港高校の加藤龍太郎さん、留学生の部では本学部の王文強さん、大学生の部では広島修道大学の美之口結香さんが優勝しました。今回はさらに多くの学生の参加を期待しています。

卒業論文発表会

2月7日午後1時から、立町キャンパスにて卒業論文発表会を行いました。取り上げられたテーマは、バスフィッシング、中国のコンテンツビジネス、フィリピン人女性の出稼ぎ、大学のある瀬野地区でのフィールド調査、年金問題、認知症高齢者の家族介護、障害者の欠格条項等。現代社会の一角を切り取る多彩なテーマで、10件、計13名が発表しました。今年度は共通テーマを掲げたゼミでの発表もあり、フロアからは多くの質問が寄せられ、午後5時過ぎまで活発な議論が行われました。



独自の視点で現代社会を切り取る

アジア・アフリカ諸国の研修生が実習場を視察

教務委員長 知名 宏

2月10日、(財)海外職業訓練協会(OVTA)の依頼により、各国職業訓練施設の管理職を対象とした国際協力機構(JICA)の「職業訓練管理セミナー」の研修員10名(エジプト、インドネシア、マレーシア、モザンビーク、トンガ、ウガンダ、イエメン)の視察^{*}に協力しました。研修員の方々はそれぞれの国で技術教育や職業訓練校の校長や指導員などの職にある人たちで、迫田短大部長の挨拶のあと、自動車短大部の教育体制など全体概要の説明が行われ、活発な質疑が行われました。



研修生と本短大教員の記念撮影

そのあと学内見学に移りました。最初に図書館を見学しましたが、ここでも、その蔵書内容や管理システムに関していろいろ細かい質問が出されました。次に実習場へ向かいました。当日、実習場では2級ガソリン整備士国家試験に備えて2年生が実技講習を受講していましたが、一行は学生たちの中に入って熱心に受講状況を見学し、学生たちの真剣な受講態度に感銘を受けた様子でした。まとめの質疑では、より具体的な質疑が行われ、その中でOVTA職員の方から本短大は第三者評価で適格という認定を受けた、との説明があり、研修員の方々に自動車短大部のレベルの高さを認識して頂いたようで双方にとって非常に有意義な交流ができました。



電装実習場で熱心に見学する研修生

^{*}今回、文科省系私立大学における職業教育の管理運営の理解と校内視察を目的として本短大が選ばれました。

企業の採用試験がスタート! 一学内会社説明会開催

就職課長 川口 修三



販社代表によるグループ企業の紹介

来年卒業する学生の「学内会社説明会」が2月2日から3日間、本短大部の大教室で実施されました。

昨年秋以降の未曾有の経済不況の影響で就職試験も厳しくなるのでは?と、学生も肌で感じているのか真剣味が違っているように感じ取れました。参加企業の中に採用を控える企業もあり、計52社と昨年よりは、若干少なくなっています。求人数を減らしている企業も多くなって来ており、「就職冬の時代」が到来した感は拭えません。ただ、整備業は製造業と異なり、クルマ保有台数が急減する訳ではなく、また新車販売は確かに落ち込んで来ていますが、その分、メーカー系ディーラーも整備部門に力を入れて行こうとの傾向が見られます。そのような環境下、各企業もこれまでの顧客に長く留まってもらうためにもより優秀な整備員を厳選して採用するようになっています。

それに加え、採用試験も早まり説明会終了直後から2月中に集中するなど、学生にとっては、春休み期間中にありながら採用内定が決まるまで休めない・眠れない月となっています。

各企業とも説明にはプロジェクター、DVDを駆使して戦力になる学生を引きつける努力が感じられました。

このように整備員の需要はそれなりにありますが、厳選採用傾向が強まっているため、希望する企業に入ることがより厳しくなっています。しかし、状況急変の中で、多くの学生が進路について迷っている事もあり、迷いが取れたときには就職先が限定されることが懸念されますので、これまで以上に進路指導を強化しています。



真剣な表情の学生たち

オーストラリア より 姉妹校来る



本高校は平成7(1995)年、オーストラリアのグローヴデイル・カレッジ(中高一貫校)と姉妹校提携を交わし、以来、相互訪問を行っています。これまでに本高校より12回、計131名の生徒がグローヴデイル校を訪問し、交流を図ってきました。一方、オーストラリアからは3回、計42名の生徒が本高校を訪れました。

この12月、男子5名、女子6名の生徒と引率の2名の先生が来校し、10日から一週間、本高校生徒と授業などを通じて交流しました。その内容は原爆瓦の再現実験、気体の質量比較実験、紙漉(かみすき)、茶道、陶芸、調理、書道、剣道、日本の地理と歴史、学食体験などです。さらに、英語科の教員はゲームを取り入れるなど全員参加型の楽しい授業を展開していました。

滞在期間の一週間はあっという間に過ぎ、広島駅新幹線ホームでは見送られる生徒も見送りの生徒も涙、涙、涙。ホストファミリーとしてお世話いただいた保護者の方々が如何に心を込めた温かいおもてなしをしてくださったか、このシーンを見ただけで分かりました。ご協力いただいた皆さんに心より感謝いたします。

この春には本高校生徒がイギリス姉妹校(ベックフットスクール)へ、夏はオーストラリアへそれぞれ訪問する予定です。秋にはイギリスからの訪問を受けます。本高校選択講座の「ハングル」を含めて、国際交流事業が年々発展していることをうれしく思います。皆さんの一層のご協力をお願いいたします。



お土産にいただいたカンガルーの人形。「ひろこちゃん」「ひろしくん」と名付けられる。



海の彼方から剣士参上？



「ファミリー」って、日本語でこう書くんだね



お好み焼き作りに挑戦

校内献血について

保健環境部 瀬越 徹

毎年1月に実施している「校内献血」を、今年も1月15～16日に行いました。2日間で189名の受付があり、117名の生徒が献血に協力してくれました。日本赤十字社の方々は、輸血用の血液が特に減少するこの時期に毎年多くの実施者がいる本高校に対してたいへん感謝されて



いました。このことは、生徒のボランティアに対する意識の高さによるものだと感心します。また昨年同様、朝食を食べてこない生徒がほとんどいないことも他校に比べて際立っているそうです。来年も継続して実施しますので、生徒の皆さんの協力をお願いいたします。最後に、2日間献血活動のお手伝いをいただいたPTAの方々にお礼を申し上げます。



満を持して

広島国際学院大学でセンター入試

1月17～18日の両日は、全国統一のセンター試験の日です。

我が広島国際学院高等学校の生徒も、この日に備えて正月返上で頑張ってきました。試験会場は広島国際学院大学中野キャンパスです。大寒を前にした朝方の冷え込みは厳しく、それでも受験生は気が張っているせいか、寒さに凍える様子もなく、白い息を吐きながら元気に坂道を上ってきました。



先生たちからも熱いエール

坂道の上で待ち構えていたのはクラス担任や日頃から教科指導に当たっている先生、進路指導の先生、それに萩野校長。総勢10名を超える大応援団、そして学校名が鮮やかに染め抜かれた応援旗。受験生はやや緊張の面持ちながら、先生方の応援を得て、勇気百倍で試験に臨んだことでしょう。



努力の成果を発揮する日が来た

高校

～風を切って～ 校内マラソン大会(2月11日)

9時40分、春風を切って2年男子、続いて1年男子が、10分後には2年女子、1年女子と、萩野校長による号砲で校内マラソン大会がスタートしました。今年も坂中学校を発着点とし、坂町森山ジョギングコースを男子は9km、女子4.5kmを走ります。風光明媚な瀬戸内海を臨むジョギングコース。走る生徒に、そのような景色は眼中にはないでしょう。

マラソン大会に向けて、およそ一ヶ月の間生徒たちは体育の授業で毎時間、瀬野川河川敷を走りました。この河川敷は数年前より整備が進められ、多くの人が散歩を楽しんでおられ、授業での練習時には地域の方から“がんばってー”と声をかけていただくこともあり、生徒の励みにもなっていたようです。

ところで昨年、このマラソン大会に、保護者の方が参加されたことを覚えておられますか。今年は3名の方が参加され、タイムは9kmのお父様は37分、4.5kmのお母様はお二人とも25分。この好記録に応援取材のPTA広報委員の方々もビックリ。



生徒会、大活躍

このマラソン大会は、生徒会役員による周到的な準備により何の支障もなく実施され、無事終了しました。最後に、会場とコースを使用させていただいた坂中学校及び坂町の関係者の方々に御礼を申し上げます。



1年女子、スタート



2年男子、スタート

本学院学生生徒の活躍

— 栄光を称える —

【大学・短大】平成20年度部活動成績

サークル名	受賞者	出場大会名	成績
硬式野球	団体	平成20年度広島六大学野球春季リーグ戦	第2位
バスケットボール	団体	第34回中国大学バスケットボール春季優勝大会	第5位
	団体	広島県学生バスケットボール選手権大会新人戦	第3位
アーチェリー	団体	2008年度広島県学生バスケットボール選手権大会秋季リーグ戦	第4位
	団体	第38回中国四国学生アーチェリー王座決定戦(団体決勝)	優勝
	杉本 達哉(3年 魚津工業高校出身)	第38回中国四国学生アーチェリー個人選手権大会	優勝
	炭本 拓郎(2年 広島工業高校(県立)出身)		第7位
	斎藤 大奨(1年 魚津工業高校出身)	第38回中国四国学生アーチェリー新人選手権大会(男子個人)	第4位
	前川 岬(1年 呉宮原高校出身)		優勝(初心者部)
	才原 光平(2年 可部高校出身)		優勝
	炭本 拓郎(2年)		準優勝
	杉本 達哉(3年)	第13回中国四国学生アーチェリー室内個人選手権大会	第3位
	佐々木勇一(3年 可部高校出身)		第5位
斎藤 大奨(1年)		第8位	
自動車部(短大)	団体	中四国学生ダート・トライアル選手権大会	優勝
	団体	全日本学生ダート・トライアル選手権大会	第11位
	久保 朋之(2年 ウィザース高校出身)	全中四国学生自動車運転競技選手権大会 小型貨物の部	第3位
	南瀬 和宏(2年 呉工業高校出身)	全中四国学生自動車運転競技選手権大会 小型乗用車の部	第3位

【高校】平成20年度高校部活動成績優秀者理事長表彰

部名	個人・団体別	受賞者	出場大会名	成績
レスリング	個人 グレコローマスタイル84kg級	坂野 修平(2年 海田西中学出身)	第63回国民体育大会秋季大会	第5位
ゴルフ	個人 少年男子の部	久志岡俊海(1年 仁保中学出身)	第63回国民体育大会秋季大会	第3位
吹奏楽部	団体 吹奏楽の部	高校の部	第10回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜	連盟理事長賞

卒業生の活躍

環境分析業務にやりがいと責任

富士企業株式会社 山岡 洋介

大学院工学研究科 博士後期課程 材料工学専攻 平成20年3月修了



近年の環境分析業界は、一般社会や経済動向により様々な角度から市場が創出され、公害防止策や排出基準といった国内外法律改正など、今後も多くの要素に対応していく必要があります。私の勤務している富士企業(株)・本社環境分析センターは「環境計量証明事業所」(水質・土壌・ごみ質・産業廃棄物分析・ばい煙測定など)および「作業環境測定機関」(騒音振動・悪臭臭気・作業環境測定など)として、民間企業や官公庁など、クライアントに応じて様々な分析業務を行なっています。

在学中、博士課程で廃水処理を研究する傍ら、広島銘水研究会に所属していた私は、実践的な環境分析技術をご教授頂いていたこともあり、入社時から網羅的な環境分析業務に関わっています。分析業務には、化学・解析・統計学に関する知識や法律など、幅広い知識が求められることに加え、社会問題となった極微量化学物質(残留農薬など)に対応するため、0.0000001%以上の分析精度が求められる物質もあり、仕事としてのやりがいを感じる反面、年々大きくなる社会的責任も感じています。

己の無知さを思い知らされることもあります。本大学院博士課程で身につけた工学的な思考過程を軸に、企業人としての市場価値を高める努力を続けています。今後は、私の専門である生物工学と環境分析を結びつけ、コンサルティングも含めたトータルソリューションを提供できる新たな市場開拓を視野に今後も精進していきたいと思っています。



分析業務の様子

※山岡さんは広島電機大学附属高校(現：広島国際学院高校)、広島国際学院大学、さらに同大学院と12年にわたり本学院で勉学に励まれました。

教育ミニシンポジウム

工学部・情報デザイン学部 教育ミニシンポジウムを2月12日に開催しました。鶴理事長、今村学長以下、多数の教員、職員が出席して、活発かつ真剣な質疑が行われました。また、平成21年度新規申請発表も9件ありました。新規申請テーマは本年度成果をさらに発展・充実させようとするものが多く、PDCAサイクルを取り入れて、各プロジェクトのさらなる充実、発展を期待しています。



教育ミニシンポジウム

平成20年度成果発表

①	体験学習教育プロジェクトーサバイバル体験や異文化体験を通してー
②	ゲーム・アニメーション・映像教育に関する環境整備および充実
③	情報の表現方法を学ぶための情報基礎実習カリキュラムの作成
④	実践型ネットワーク関連技術者の育成とCCNA資格取得への支援
⑤	情報デザイン教育における体験型・総合型学習ーセンスと見識の発展学習ー
⑥	学内ポータルサイトの構築（継続）
⑦	情報デザイン学科の卒業制作展（継続）
⑧	PICマイコンを用いた機械制御
⑨	「身の回りの中の科学」教材作成（「ものづくり科目」関係テーマ）
⑩	一芸プログラム「技術と産業化」の実施（計測・設計・製作を学ぶ）
⑪	製図・CAD関連科目の教育改善とその実施
⑫	表面処理技術実習の充実
⑬	農業・園芸系実習の充実
⑭	実演型講義（継続）
⑮	TOEIC受験支援（継続）

特別研究成果報告会

平成20年度工学部・情報デザイン学部特別研究成果報告会が、2月13日、本大学中野キャンパス10号館のマルチビジョン講義室で開催され、午前8件、午後4件の発表がありました。これらの研究課題は、学内審査にもとづいて採択された研究費を使って行われたもので、昨年からの継続課題が2件、新規課題が10件でした。

発表された研究内容は、種々の専門分野にわたっており、深い議論をすることはできませんが、終始聴講した後の感想を述べさせていただきます。

生産システム合理化にフレキシブルに対応できるオブジェクト指向ICタグの開発、次世代インターネットの基盤となるIPv6環境におけるデータ伝送方式の確立など、それぞれの専門分野を発展させる努力がなされていることが感じられました。一方で、廃食用油を燃料として再生する製造装置開発を目的としたバイオディーゼル燃料に関する実用化研究、環境にやさしい夢のエンジンと言われているスターリングエンジンの開発など、昨今の環境問題の高まりを反映した研究課題もありました。この他にも興味深いものでしたが、紙面の関係で割愛いたします。今回発表の教員は、ますます多忙となる学生指導の合間を縫って研究を遂行し、可能な限りの努力を重ねてきたことが伺えました。これらの成果が、地元産業界との共同研究など地域連携にも活かされることを期待します。

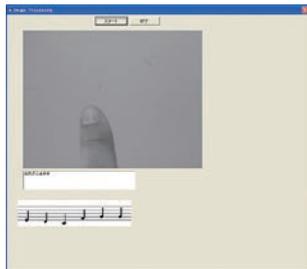


特別研究成果報告会

だれにもいやがられるものに「ノイズ」があります。自動車の騒音、ラジオのザーザーという雑音、通信でもロボットでも「ノイズ」はじゃま者です。「ノイズ」は不規則で波形を予測できないのが特徴です。

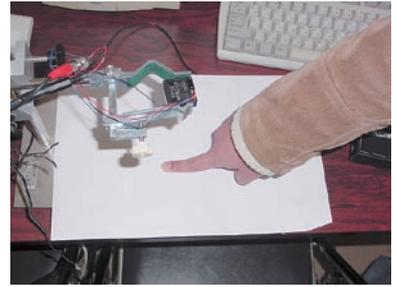
しかし、よく考えると身の回りは不規則な「ノイズ」だらけです。雷、鳥の声、磁気嵐、風のゆらぎ、雨や晴れたりする天候、木々のざわめき、海の波、雲の形、……。自然も人も生き物も自由に不規則に動くのが本来の姿なのでしょう。不規則なノイズもじゃま者ではなく、世界を驚きに満ちた豊かなものにし、新しいものを生む可能性を秘めています。

といっても、ロボットの中にノイズが入るとどう動くのか？通信線や画像に混じったノイズの除去方法は？これらは現在でも工学的に難しい問題です。私の研究の一つも、ノイズの入った制御システムの動きを調べることです。



指の位置によって音楽を演奏

私のもう一つのテーマは、コンピューターを使った福祉機器の開発です。たとえば重度の障害がある人のために、指を動かすだけでロボットを動かしたり音楽を演奏したりする装置を学生たちと研究してきました。これにはカメラの画像処理技術、コンピューター、モーター制御など総合的な知識が必要になります。これらの知識は、学生たちが社会で「ものづくり」の仕事に従事したときに役立つと思っています。



指の位置をカメラで検出



指の位置に対応してロボットが動く



工学部 総合工学科

にし むら まさ ふみ
西 村 正 文 研究室

ノイズと福祉機器



情報デザイン学部 情報デザイン学科

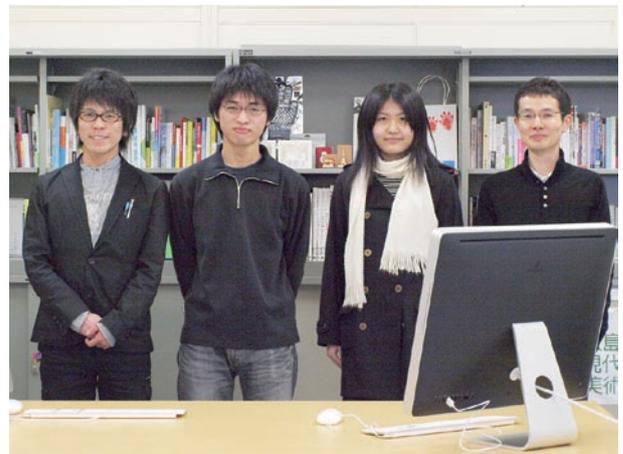
えん どう じゅん いち
遠 藤 潤 一 研究室

社会に貢献するデザイン

本研究室では、社会におけるデザインの活用を大きなテーマに研究と制作を行っています。

私が現在注力している研究は、デジタルサイネージ(電子看板)と呼ばれる情報表示ディスプレイのデザイン評価と検証です。デジタルサイネージは大都市圏を中心に急速に普及しており、広島においても交通機関や文化施設で見かけるようになってきました。デジタルサイネージは新しいメディアであるため、デザインの見やすさや分かりやすさに関する研究は非常に少ないことが現状です。本研究では、こうした現状を改善するためにデザイン評価の基礎データを収集し、多くの人にとってより良いデザインを探っています。

昨年度から3年生のゼミを担当させて頂いており、ゼミでは使いやすさに関するデザイン理論の修得とともに、製品ロゴやポスター、Webサイトなどの実践的なデザイン制作を行っています。制作以外にも、地域の子供たちを招いたデザイン体験のボランティアや横浜で開催されたアートイベント(横浜トリエンナーレ2008)の見学などを行い、デザインに関わる多様な経験を積んでいます。また、本年度は本ゼミで初めての卒業制作となります。卒業制作に向けたゼミ生の興味は様々で、病院の診察カードのデザイン提案、公共Webサイトにおける使いやすさの改善など興味深いテーマを予定しています。今後も社会に貢献できるデザインを目標に研究を進めたいと思います。



研究室のメンバー (著者右端)

の 紹 介 ● ● ●

本大学に赴任して4年目を迎えました。現代社会学部においては、経済学ならびに教職関係の授業担当とともに、入試関連業務の分掌を主として担当しています。まだまだ文化や風習に慣れぬまま時間だけが過ぎていっているような気がします。

私の専門領域は国際金融論、なかでも東アジアにおける金融・通貨制度の比較研究がテーマです。研究のきっかけは1997年に起きたアジア通貨危機にあります。それまで経済的に順風満帆とされていた国や地域が、なぜ突然に通貨危機に陥ったのか。なかでも国際間の資本の流れに興味があります。

そのほか興味を持っていることは、各国の家計貯蓄率についてです。貯蓄率は一国の国内総生産に大きな影響を与えます。これは人口動態や政治、それから民族性に密接に結びついています。

現在、4年生と3年生のゼミを担当しています。今年で3年目の卒業論文指導となり、指導にもやっと慣れ始めてきたところです。今年の4年生は5人。全員、昨年から継続のメンバーで、体育会系の活気あふれるゼミです。議論も活発で頼もしく思えます。ゼミ生がどんな卒論を書いてくれるのか今から楽しみです。彼らの関心は様々ですが、とりわけ経済学に関して、いわゆるバブル経済や、その崩壊に関する興味が高いように思えます。おそらくそうした題目が希望として多く提出されるのではないのでしょうか。歴史を学ぶことはとても大切で、昨秋からの経済危機を見通す上で、必ず良いヒントになると思います。



筆者と著書（右下）

東アジアにおける金融・通貨制度の研究



現代社会学部 現代社会学科

くり はら おさむ
栗 原 理 研究室

広島カープと地域のつながりを探る

大学院現代社会学研究科 博士前期課程2年 ふじもと のり ふみ
藤 本 倫 史

私は現代社会学研究科でプロスポーツ球団と地域のつながりについて研究しております。

特に広島東洋カープについて研究を進めており、昨年8月には2軍チームの本拠地がある由宇練習場(山口県岩国市由宇町)で観客にアンケート調査を行いました。

現在、広島では新球場開設や市民球場跡地問題などカープに関連したできごとがマスコミに大きく取り上げられ、人々の関心を引いています。

そういった現象をみると、カープは長年、復興のシンボルや市民球団と言われ、市民や広島の街に存在感を示してきていることがよくわかります。

しかし、その現象は一体なぜ、おこるのでしょうか。また、なぜ、多くの人々がカープを応援し、盛り上がり、地域のアイデンティティーとして存在しているのでしょうか。

その根幹は球団の創設期にあると思います。利益を求めて発足したわけでもない球団関係者、金にならない球団の株をこぞって買った市民などの歴史は他の11球団にはありません。

その根幹から様々な方向へ進み、現在の形になったカープ。その形は、数年前に起こった球界再編問題そして新球場開設でまた、形が変わろうとしています。

そのような動きを様々な角度からとらえ、これからの広島東洋カープのあるべき姿を導き出せたらと感じています。



大観衆で真っ赤に染まった広島市民球場のスタンド

平成20年度

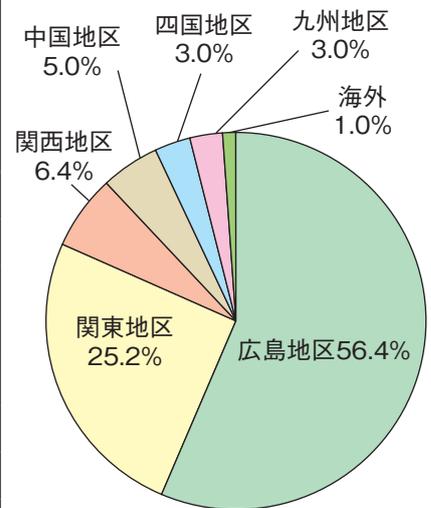
広島国際学院大学進路状況

平成21年3月19日現在

- 厳しい国際競争のもとで企業が求める「目的達成能力」、「問題解決能力」のある人材の育成に努めています。
- 従来から元気で実践力のある学生を育てており、実社会での活躍が評価され近年約24倍以上の求人倍率を得て、高い就職率を達成しています。
- 就職模擬試験をはじめ面接・作文の指導など、学生の就職活動を就職課と教員がきめ細かくサポートします。

進路状況

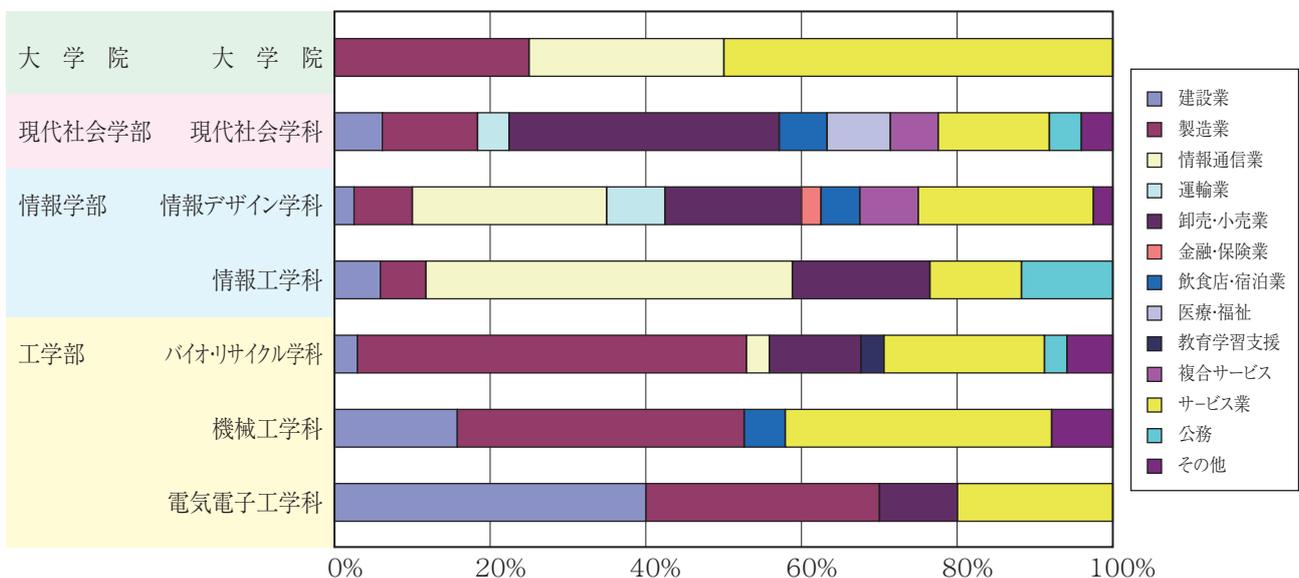
項目	電気電子工	機械工	バイオ・リサイクル	工学部計	情報工	情報デザイン	情報学部計	現代社会学部	大学計	大学院	
卒業・修了者総数(人)	25	42	53	120	34	65	99	71	290	6	
進学(人)	2	1	12	15	6	8	14	7	36	0	
就職希望者数(人)	20	40	35	95	22	42	64	60	219	6	
採用内定者数(人)	20	38	34	92	17	40	57	49	198	4	
就職率	100%	95%	97.1%	96.8%	77.3%	95.2%	89.1%	81.7%	90.4%	66.7%	
就職率(前年度)*	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	86.4%	97.2%	92.3%	
求人状況	会社数	1,758	1,743	1,578	1,800	1,562	1,528	1,564	1,406	1,823	783
	求人数	2,308	2,288	2,025	6,621	1,583	1,530	3,113	1,415	11,149	1,240
	求人倍率	115倍	57倍	58倍	70倍	72倍	36倍	49倍	24倍	51倍	207倍



地区別就職先

※就職率(前年度)は確定値

業種別就職状況



平成20年度

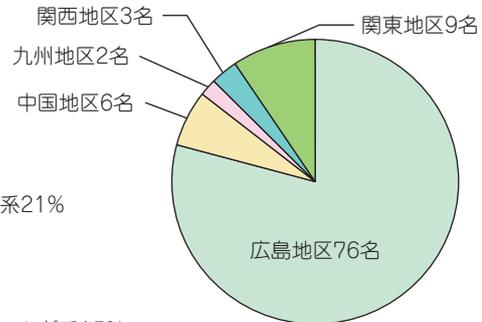
広島国際学院大学自動車短期大学部進路状況

平成21年3月19日現在

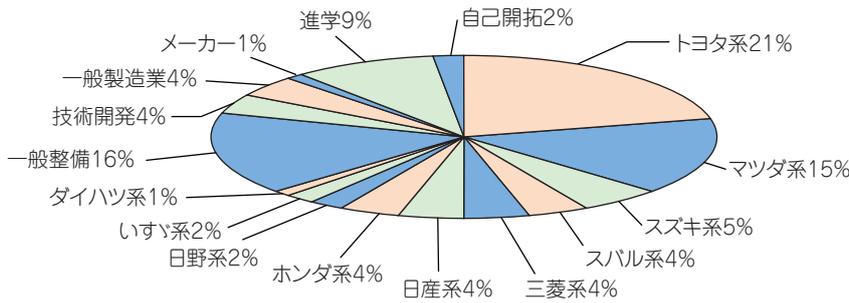
進路状況

卒業生数	98名
就職決定者/希望者	87名/87名
進学決定者/希望者	9名/9名
自己開拓	2名

地域別進路状況



卒業生の進路内訳



平成20年度

広島国際学院高等学校卒業生進路状況

平成21年3月19日現在

学 科	性 別	在 籍	進 学				就 職					
			大 学	短 大	専 門	未 定	県 内	県 外	公 務 員	自 営	自 己	未 定
総合システム科	男	89	42	7	14	7	15	1	2	0	0	1
	女	34	7	2	12	0	7	0	0	0	0	6
普 通 科	男	111	71	2	8	30	0	0	0	0	0	0
	女	164	74	33	29	21	4	0	1	0	0	2
合 計		398	194	44	63	58	26	1	3	0	0	9
		%	90.2				9.8					

大学・短期大学 合格先

	大 学	短 期 大 学
中四国	県立広島大、広島市立大、島根大、愛媛大、エリザベト音楽大、広島文化学園大、比治山大、広島経済大、広島工業大、広島国際大、広島国際学院大、広島修道大、広島女学院大、広島文教女子大、福山大、福山平成大、安田女子大、倉敷芸術科学大、吉備国際大、松山東雲女子大、岡山理科大	福山市立女子短大、山陽女子短大、鈴峯女子短大、比治山大短大部、広島国際学院大自動車短大部、広島文化学園短大、安田女子短大、順正短大、岩国短大、下関短大
その他	弘前大、中京大、京都外国語大、福岡大、大阪経済法科大、明星大、松蔭大、名古屋外国語大、国際医療福祉大、名古屋学院大、九州産業大、大阪芸術大、立命館大、関西学院大、近畿大	

専門学校 合格先

CAC医療技術専門、日本ウェルネススポーツ専門（広島）、専門文化服装学院（広島）、マインドビューティーカレッジ、総合学園ヒューマンアカデミー専門、トリニティカレッジ広島医療福祉専門、広島医療保健専門、広島外語専門、広島県理容美容専門、広島工業大学専門、広島高等歯科衛生士専門、広島市医師会看護専門、広島情報ビジネス専門、広島市立看護専門、広島製菓専門、広島デンタルアカデミー専門、広島ビジネス専門、広島美容専門、広島酔心調理師専門、朝日医療専門、代々木アニメーション学院（広島）、穴吹動物専門、石田あさぎトータルファッション専門、広島コンピュータ専門、岩国YMCA国際医療福祉専門、大島看護専門、岡山労災看護専門、四国医療専門、ソワニエ看護専門、辻製菓専門、東洋医療専門、名古屋医療福祉専門、日本メイクアップアーティスト学院、東放学園専門、福岡ECOコミュニケーション専門、福岡医療専門、大阪ハイテクノロジー専門、東京スクールオブミュージック専門、日本ナレーション演技研究所

主な就職先

マツダ㈱、エルピーダメモリ㈱広島工場、㈱ワイテック、㈱片倉の網管広島工場、㈱中電工、ダイキョーニシカワ㈱、スタンレー電気㈱広島事業所、㈱酔心、佐川急便㈱中国支社、広田工業㈱、㈱アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド呉工場、岡山県貨物運送㈱広島主管支店、カヤ工業㈱、新明和工業㈱特装車事業部広島工場、日本通運㈱広島支店、田中電機工業㈱、(有)室中産業、㈱ヤマダ電機、㈱サン・マリオ、㈱武田（武田和裁高等専門学校）、㈱ビックカメラ、㈱コジマ

教員免許状更新講習

実施予定についてのご案内

広島国際学院大学では、平成21年度教員免許状更新講習を下記のとおり実施する予定です。

1. 講習の種類と概要

○必修講習：8月3日(月)～4日(火)6時間×2日

対 象：小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭

特 色：講習内容に対応し、次のような実績のある講師10名近くを予定しています。

- ・教育現場での実践的な活躍実績
- ・教育行政における幅広い実績
- ・教員養成大学における教育研究実績
- ・教育施策の情報把握実績

○選択講習：8月5日(水)～7日(金)6時間×3日

内 容：主として(工業電気分野、工業機械分野、技術分野、理科分野、情報分野、社会分野)

特 色：分野毎に3日連続ですが、受講者の専門に合えば1日単位で別の分野の選択も可。

2. 会 場：広島国際学院大学 中野キャンパス

3. 申込期間：4月19日(日)～5月18日(月)

4. 概要はHPでお知らせします。

○本大学の問合せ先：広島国際学院大学 学生部教務課

電 話 082-820-2527

Eメール koushin@hkg.ac.jp

◎教員免許状更新講習の制度については、[文部科学省のHP](#)をご覧ください。

「総合システム科」から「総合学科」へ

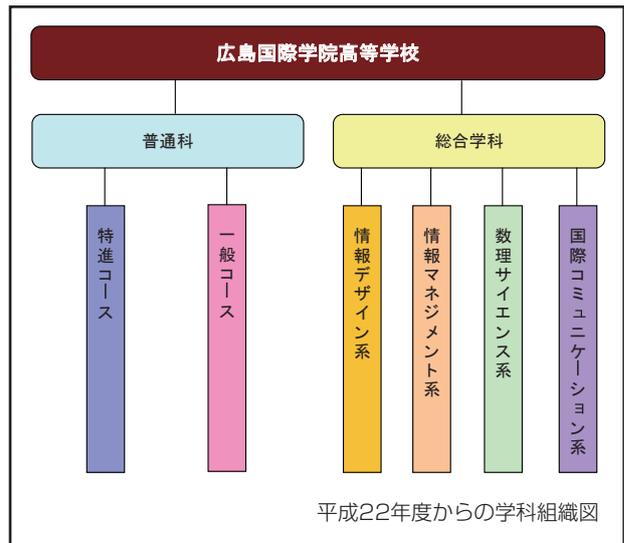
—高校に平成22年度開設予定—

昭和21年に広島市から海田の地に移転し、昭和23年に「電気科」を設置して以来、本高校工業科は、現在まで数多くの卒業生を送り出してきました。途中、「機械科」、「自動車整備科」などを併設し、その後、更なる改編により、現在の「総合システム科」へと受け継いできました。その60年間の歴史の中、本高校工業科は、昭和40年に設置した「普通科」と共に常に時代のニーズに応え、社会に有用な人材を育ててきました。

それらの伝統を踏まえながら、本高校の更なる発展を期して、来年度(平成22年度)新たに「総合学科」設置を目指します。

生徒たちの多岐にわたる進路目標実現のために、多彩な教科・科目履修や体験的学習、国際交流などの教育課程を配置し、目まぐるしく変動する社会の変化に対応出来る、「生きる力」を持った人間づくりを目標とします。

平成22年4月、「普通科」と「総合学科」を併設した、新たな広島国際学院高等学校が誕生します。(ただし、県に申請中)



★今後の主な行事予定

大学・短大 初年次教育 (4/3～4) 入学宣誓式 (大・短4/5)
学内ガイダンス (工・情4/6～7 現4/6～8 短1年4/6～7 2年4/6)
学生会主催オリエンテーション (大4/7)
前期授業開始 (工・情4/8 現4/9 短1年4/8 2年4/7)
オープンキャンパス (大5/17 短4/26 5/17 6/7 6/28)
高 校 始業式 (4/7) 入学式 (4/8) 新入生集団合宿 (総5/22～24 普5/24～26)
体育祭 (6/20) 遠足 (6/26)

この広報誌はホームページでご覧になれます。 <http://office.hkg.ac.jp/kikaku/kouhou/>

高校生以上の方に図書館を開放しています。 詳細は図書館までお問い合わせ下さい。TEL082-820-2536